

- 防衛省・自衛隊においては、「防衛力整備計画」に基づき、防衛力の抜本的強化の一つである「持続性・強靱性の強化」のため、弾薬の製造量に見合う火薬庫の確保を進めることとしており、陸上自衛隊祝園分屯地においても、火薬庫等の整備を予定。
- 近畿中部防衛局は、令和6年4月から、火薬庫等の整備に向けた基本検討業務に着手し、その中で、**精華町および京田辺市の要望を踏まえ、活断層や自然環境等の調査、用地造成工事や施設の給水・排水等に関する基本検討**を実施。

【整備を予定している施設】

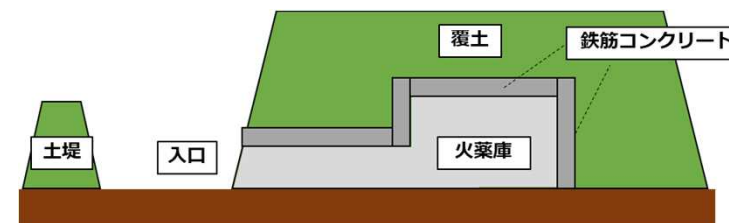
- 火薬庫、整備場、倉庫等
 - ※ 火薬庫の種類は、既に祝園分屯地内にある火薬庫と同様、**地上覆土式**となる予定。
 - ※ 火薬庫は8棟。今後の状況に応じて更なる火薬庫の整備を検討。
- 管理地区における隊庁舎の建替等



地上覆土式火薬庫（イメージ）

（参考）地上覆土式火薬庫の基本構造について

- ・ 地上覆土式火薬庫は、鉄筋コンクリート製の堅ろうな施設で、さらに出入口以外の三方と上部を土で覆う（覆土）ことで強度を高めたもの。また、出入口の前方部には、万が一の際の爆風による衝撃を極小化するため、土堤を設置。



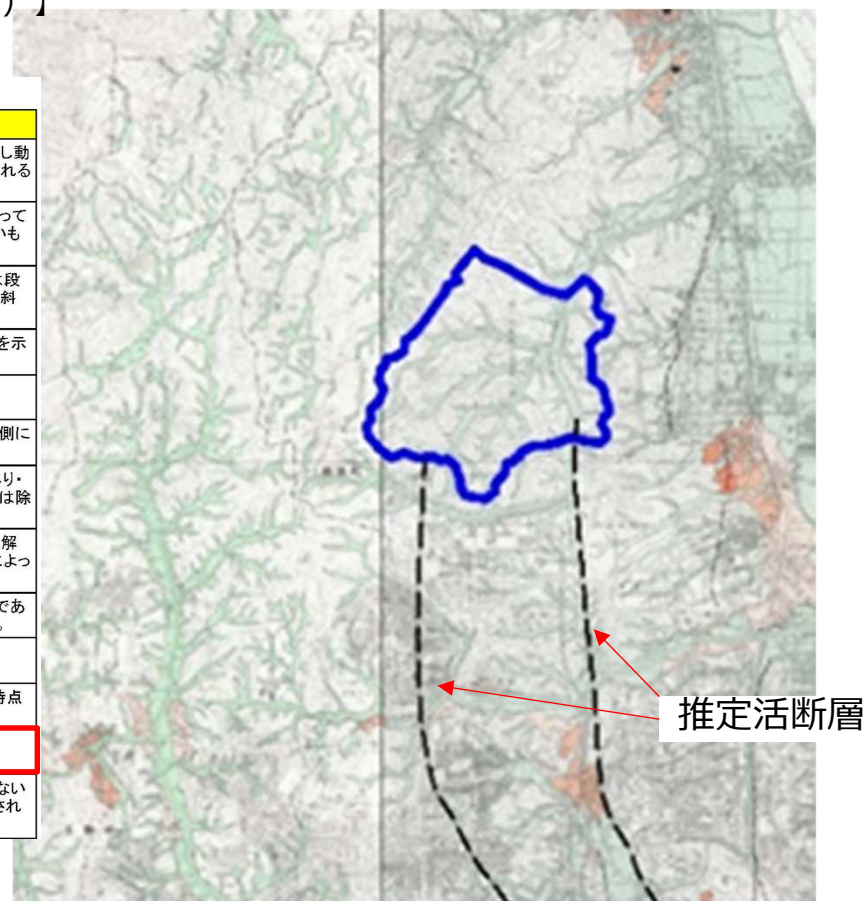
(1) 活断層に関する調査について

- 近畿中部防衛局は、精華町からの要望を踏まえ、基本検討の中で、活断層について文献による調査を実施。
- その結果、現時点で、奈良方面から分屯地の南縁及び東縁にかけて、活断層の可能性がある地形が分布しているものの、**分屯地の南縁及び東縁以北においては分布していないことを確認**した。

文献例①【国土地理院「1:25,000活断層図」(2023年9月)】

活断層図(都市圏活断層図)の内容(記号一覧)

名称	記号	定義
活断層	——	最近数十万年間に、概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いてきた跡が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。明瞭な地形的証拠から位置が特定できるもの。
活断層(位置やや不明確)	- - - -	活断層のうち、活動の痕跡が侵食や人工的な要因等によって改変されているために、その位置が明確には特定できないもの。
活断層(活拗曲)	↓ ↓ ↓	活断層のうち、変位が軟らかい地層内で拡散し、地表には段差ではなくたわみとして現れたもの。たわみの範囲及び傾斜方向を示す。
活断層(伏在部)		活断層のうち、最新の活動時以後の地層で覆われ、変位を示す地形が直接現れていない部分。
横ずれ	→	活断層の相対的な水平方向の変位の向きを矢印で示す。
縦ずれ	↑ ↓	活断層の上下方向の変位の向き。相対的に低下している側に短線を付す。
地震断層		地震の際に地表に現れたことが確認された断層。(地すべり・地盤沈下・液状化等に伴う変状であることが明らかなものは除く)
トレンチ調査地点	—□—	活断層の通過地点に調査溝(トレンチ)を掘り、断層運動の解読調査を行った地点。(これまでに各種調査研究機関等によって調査が実施されたもの)
活断層露頭	—○—	最近数十万年間に堆積した砂礫層などを切断し、活断層であることが確実に判明した露頭。現在は露出がなくなると記載。
活断層の名称	野島断層(例)	活断層の固有名義。
推定活断層(地表)	——	地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では明確に特定できないもの。
推定活断層(地表) (位置やや不明確)	- - - -	推定活断層のうち、位置が不明確なもの。
推定活断層(地下)	□ □ □	新しい地層に覆われて、断層地形が地表で確認されていないが、既往のボーリングや物理探査によりその存在が推定された活断層。



(1) 活断層に関する調査について

文献例②【近畿の活断層（2000年）】
（編者：岡田 篤正、東郷 正美（代表：河野 通方））



文献例③【京都盆地－奈良盆地断層帯南部（奈良盆地東縁断層帯）の評価（2001年）】
（出典・著者：地震調査研究推進本部）



文献例④【「活断層詳細デジタルマップ」（2002年）】
（編者：中田 高、今泉 俊文（代表：岡本 和夫））



文献例⑤【「活断層詳細デジタルマップ」（2018年）】
（編者：今泉 俊文ら（代表：吉見 俊哉））



(2) 環境調査の実施について

- 今般の火薬庫等整備における開発区域は、京都府環境影響評価条例の対象となる規模（50ヘクタール）には達しない見込みであるが、近畿中部防衛局は、精華町及び京田辺市からの要望を踏まえ、環境調査を実施中。
- ⇒ 今後、環境調査の結果を踏まえて、工事の実施による環境への影響が回避・低減となるよう適切な保全措置を検討。

【主な調査項目】

- 大気質調査 …… 分屯地周辺における粉じん・降下ばいじんの現況を調査
- 騒音・振動調査 …… 分屯地周辺道路等における騒音・振動の現況を調査
- 水質調査 …… 分屯地内に観測井戸を設置し、地下水の水質・水位等の現況を調査
- 動植物調査 …… 猛禽類などの希少動植物の生息・植生等の現況を調査



大気質調査（イメージ）



騒音・振動調査（イメージ）



動植物調査（イメージ）

（３）用地造成工事及び給水・排水に関する基本検討について

【用地造成工事に関する基本検討について】

- 近畿中部防衛局は、基本検討の中で、分屯地内の用地造成工事で発生する土は、盛土に使用するなど、**精華町からの要望を踏まえ、可能な限り土砂の搬出入が生じないような計画を検討。**
- ⇒ 引き続き可能な限り土砂の搬出入が生じないよう、計画の具体化を進める。

【給水・排水に関する基本検討について】

- 近畿中部防衛局は、施設の必要給水量や計画汚水量を算定し、駐屯地内の既存の水源からの給水量で賄えるか、既存浄化槽で賄えるかを検討。なお、**精華町からの要望を踏まえ、町上下水道への接続を精華町等と調整しながら検討。**
- また、用地造成工事等期間中の雨水排水については、敷地外に影響が生じないよう、雨水の流量計算を行い、必要となる調整池の諸元を検討。
- ⇒ 今後進めていく実施設計の中で雨水排水計画を具体化。引き続き、精華町からの要望を踏まえ、敷地外への影響が生じないよう精華町等と調整しながら検討。



敷地造成工事（イメージ）

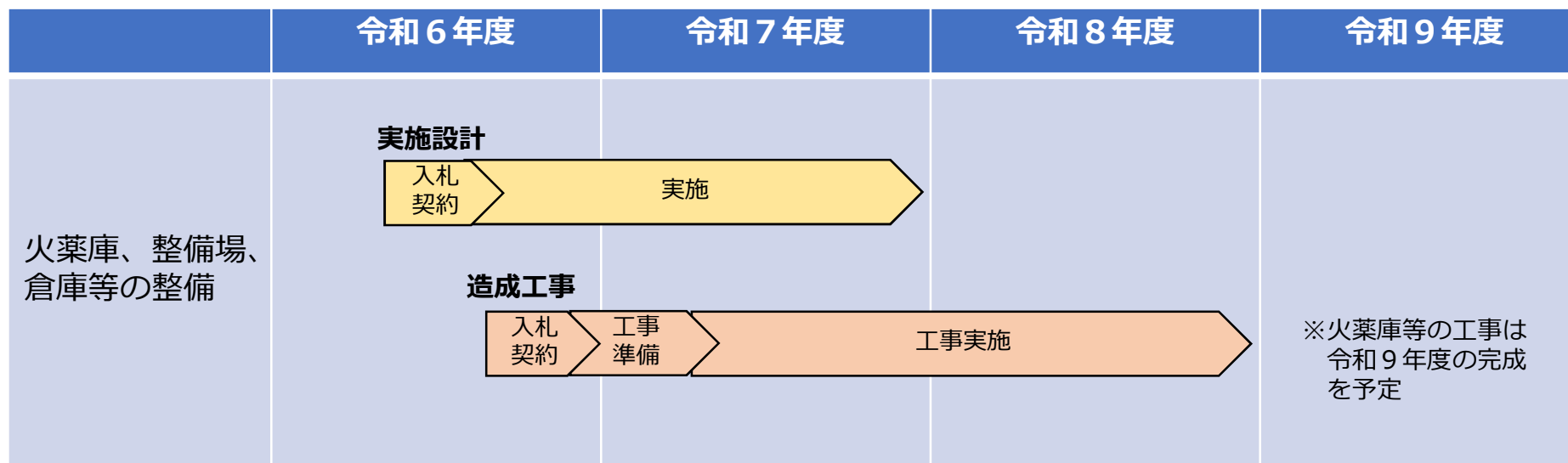


調整池（イメージ）

(4) 今後の施設整備スケジュールについて

- 令和6年度においては、火薬庫8棟、整備場、倉庫等の新設に係る調査・設計及び造成工事の入札・契約
手続を行い、**令和7年度に造成工事に着手する予定**。なお、**火薬庫等の工事は令和9年度の完成を予定**。
- ⇒ 今後進めていく実施設計の中で工事工程を具体化。
- 今後、実施設計等を進める中で、**火薬庫等の工事計画が具体化してきた際には、工事内容等について、近
隣地区住民への説明を予定**。

▼令和6年度予算に基づく今後の施設整備スケジュール（イメージ）



※スケジュールについては、現時点の予定のため、変更となる場合があります。